

第4回定例町議会

一般質問



後期高齢者医療
制度の保険料
滞納はないか

青坂 賢一 議員

質問

後期高齢者医療制度の保険料について、全道的に多額の未納が発生していると



の報道がされている。奥尻町の実態と来年度は保険料が見直しされることになるが、どのように推移するのか聞きたい。

保険料の未納はない、引き上げは極力抑えたい

新村 卓実 町長

答弁

制度が発足した平成20年度は奥尻町について未納者はゼロです。今年度については保険料の納期限までの収納率86%になっていますが、納め忘れか、制度の理解不足によるものなので、電話連絡、面談で対応しています。

来年度の保険料については、広域連合で、増加抑制策が講じられない場合、1割程度の値上げが見込まれることから、剰余金か、財政安定化基金を取り崩して保険料の引き上げを極力抑える方向で検討しています。

ごみ焼却施設廃止に向けての検討が必要

制野 征男 議員

質問

奥尻町と同程度の人口を要する自治体でごみ焼却施設を廃止した実例があり、徹底した資源ごみの分別と家庭からの生ごみの堆肥化によるものです。奥尻町においても、人件費、定期点検、運転業務の委託料で年間1億4千万円程の維持費を必要とします。ごみ焼却施設は、廃止に向けて分別、堆肥化、埋立場の活用の方



向転換するための、ち密な検討に入る時期にきているのではないだろうか。
また、廃材などの処理は破砕機を利用することで埋立場に搬入できるのでないですか。



ごみ問題の解決策は、今後時間をかけて検討する課題

新村 卓実 町長

【答弁】

新しく設置した埋立場の埋め立て部分の造成費用は1億8千7百53万円であり、防衛省の補助金は8千2百70万円です。高齢者事業団

の資源ごみに混入されて、埋立場に搬入した量は昨年度は1千7百50キログラムとなっています。補助金を受けて建設した施設でも10年を経過したものは申請し承認された場合には補助金の返還は必要ありません。
現在、ごみ焼却施設において昨年の12月におこなった「ごみ質試験」では、紙・布類が約49パーセント、生ごみ類が約25パーセント、プラスチック類が約18パーセントなどとなっています。
今後の施設の維持費部分は、今年度6千4百50万円、来年度は4千5百10万円、平成23年度は5千5百30万円となっています。施設の廃止に向けての検討は、分別品目の徹底、生ごみの堆肥化、廃食油の活用、海洋漂着ごみの処理を含め、既存のごみ焼却施設、埋立処分場、産業廃棄物処理場など、島におけるごみ問題のあり方について、時間をか

け検討していく課題だと認識しています。

観光振興の具体的な策は

制野 征男 議員

【質問】

不況の影響により全国的に観光客の動きが希薄になっている現状から、腰をすえた観光振興策が緊急課題となっており、奥尻でも多様な施策を実施し奮闘しているとの評価はできるものの歴史的遺産の本格的な活用広大な敷地を利用しての花畑の造営、自然のすばらしさの発信が不十分という感想を抱いています。

乗用車、航空機の割引の実施の方向づけも含め、島の利点である、海、山、花、パークゴルフ、フット

パスを活かした振興が必要だと思われれますが、具体的な充実策を検討しているのかお聞きします。



「ゆとりリズム」観光を進める必要がある

新村 卓実 町長

【答弁】

近年、奥尻はフットパス、

パークゴルフといった滞在型観光につながる新しい観光スタイルが誕生し、今後は観光客の数の倍増ではなく2泊以上のリピーターが多い観光地として、ゆとりと過ごす「ゆとりリズム」観光を進めていく必要があると考えています。
航空機のキャンペーン事業の割引についての来年度の実施は、財政状況を考えると難しいが、乗用車については実績を鑑み、財政状況や関係団体からの要望などを踏まえながら判断します。

国の直轄事業の町負担の解消を

制野 征男 議員

【質問】

全国的に自治体の財政が